

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		カラフルブロッサム				公表日	令和 8年 2月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		遊びスペースと宿題を行うスペースを用意しております。	今後も活動に応じて工夫していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	適切な配置数になるように調整をしています。	送迎で職員が手薄になった時どう過ごすか考えていく。宿題を一人ひとりに教えられるように工夫していきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		何をやる所なのか視覚的にわかりやすく工夫しています。	各々の障害特性に応じて、過ごしやすい環境づくりを目指します。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日掃除を行って掃除チェックリストに記入しています。また、その日のプログラムに合わせて空間作りをしています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		静養室を使用したり、パーティションを使用して個別の場所を提供するようにしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		職員会議で改善等の話し合いを行っています。利用者に変化があった時はその日に共有しています。	今後も職員間で意見を出し合い、各々の特性理解を深め、課題について全職員が同じように支援できるよう努力してまいります。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者評価が終わった後、職員会議で報告し意見交換をする予定にしています。	今後どのように取り組んでいくのか具体的に設定します。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員会議や毎日の業務前後に意見交換をして改善に努めている。	意見を取り入れて、改善点を全職員で共有し、即実行にうつすように努力してまいります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	現在第三者評価を行っていません。	第三者の外部評価を検討中です。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部の研修には積極的に参加しています。法人内でも研修を行っております。			
通	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		毎日の活動プログラムを作成し、実施している。毎月ホームページで公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		保護者様と面談し、詳しくお話を聞かせていただき計画を立てています。送迎時にも保護者様、子どもと話をし意向を聞いてアセスメントしています。	ニーズや課題を丁寧に分析し向き合いながら、計画を作成していきます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員会議で個別支援会議を行い、情報共有、意見交換を行っています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		職員会議で意見を出し合い計画に沿った個々に合わせた支援を行っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		利用者様の状況を踏まえて作成された計画案等をもとに確認を行っています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		面談やアセスメントを行い、利用者様の状況を踏まえて具体的な支援内容を設定しています。			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		職員間で意見を出し合って立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		子ども達にリクエストを聞いたり他の施設を参考にしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		子どものその日の様子で個別活動や集団活動を提供し、できるだけみんな楽しく参加できるように計画を立てるようにしております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		職員がそろった時点で、その日の支援内容や活動を話し合い、確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		業務終了後、毎日確認をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		業務日誌を毎日記録している。職員間で確認し情報共有している。経過記録の記入をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	1		発達段階や障害の多様性に応じた支援をしていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		職員が決めるのではなく、子どもに聞いて自己選択、自己決定できるようにしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		普段支援している職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		送迎時や電話や書類で連絡を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		就学前に利用していたところと情報を提供していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			該当者がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		研修に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		子ども食堂やイベントで交流しています。	地域の学校に通う児童が多く、日常生活では関わりが多いため、今後も必要に応じて日頃から公園やイベント等に参加してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や連絡ノート、また気軽に連絡をとれるようLINEなどを使い、子どもの状況や課題についてお話させていただいております。	今後も丁寧に連絡をとらせていただき、共通理解に努めてまいります。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		送迎時に家族の話を聞いたり相談に乗り情報提供を行っています。	今後家族支援プロジェクトの研修機会が開催できるように計画していきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		説明をしています。	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談をして意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		説明をして同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		保護者からの相談はその都度応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1	保護者会、子ども食堂、イベントを開催して交流する機会を設けています。	今後も交流できる機会を向けていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		上司に報告し、職員間でも共有して苦情対応しています。	親御さんとその都度相談ができる関係性を築いていきたいと考えています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		ホームページ、SNSで発信しています。	常に個人情報に配慮して情報発信をしております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		紙の書類を破棄する時はシュレッダーにかけています。個人ファイルを作成して保管場所を決めています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		電話でお話が苦手な保護者様も気軽に連絡ができるようにLINE等を利用しています。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	子ども食堂やイベントに招待し参加して頂いています。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各マニュアルを策定し周知しています。定期的に訓練を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		定期的に避難訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		面談時に確認しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		面談時に確認しております。	必要があれば医師からの指示を受けて対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		職員会議で共有して再発防止に努めております。	小さなことでもヒヤリハットの可能性があれば見つけなおすよう努力してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		外部の研修に参加したり、職員会議でも研修を行っております。	どのような場面でも対応できるよう、研修に励みます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		現在、該当者がおりませんが、身体拘束適正委員会を開催しています。	